



# 星空ウォッチング

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- 星空に関する疑似体験（プラネタリウム）や説明などにより、天体への興味、関心を持たせる。
- 星や星座などを実際に見つける活動を通して、天体に関する基礎知識、技術を身につけさせる。
- 天体望遠鏡や天体に関する道具を使用することにより、天体をより身近に感じさせる。

### 2 活動の概要

室内において、主要な星や星座の基礎知識について、疑似体験（プラネタリウム）などを通して理解を図り、その後、実際に外へ出て活動します。実際の活動として、天体望遠鏡で月や星の表面を観察したり、タブレット端末などを利用して星や星座の位置を確認したりする活動などを行います。



#### (1) 人数 60人以内

※室内説明を60人入替制で行えば、120人まで可能

#### (2) 対象 小学校4年生以上

#### (3) 期間 4月下旬～11月上旬

#### (4) 時間 1～1.5時間（説明30分+活動30～60分）

#### (5) 場所 研修室1、星見の広場

#### (6) 経費 無料

#### (7) 指導 依頼のある場合、自然の家職員が説明を行います。

### 3 準備物

団体	救急薬品
個人	夜の野外活動にふさわしい服装、必要に応じて虫除けスプレー等
自然の家	鉛筆、観察シート、天体望遠鏡（ミニ・ビッグ）、タブレット端末

### 4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	2～3名。星や星座を見つける活動、天体望遠鏡で月や星などを観察する活動を支援する。
安全管理者	1～2名。活動場所、活動範囲から外へ出ていかないように巡回指導する。また、緊急時に対応する。

## 5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備 (研修室 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内（研修室 1）で、主要な星や星座（北極星や夏の大三角など）のを見つけ方について、天井のプラネタリウムを使って説明。</li> <li>・実際に星や星座を見つける方法について、プロジェクターを使って説明。</li> <li>・ミニ天体望遠鏡の使い方について、プロジェクターを使って説明。</li> <li>・活動班や活動における留意点などの確認。</li> </ul>
活 動 (星見の広場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外（星見の広場）に移動して活動をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）星や星座を見つける活動                   <ul style="list-style-type: none"> <li>☆北極星や夏の大三角形など、説明をもとに自分の目で見つける。</li> <li>☆正しい位置を、タブレット端末などを使って確認する。</li> </ul> </li> <li>（2）天体望遠鏡で月や星を観察する活動                   <ul style="list-style-type: none"> <li>☆天体望遠鏡の使い方に応じて、月や星の観察をする。</li> <li>☆観察してわかったことを「観察シート」に記入する。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・混雑しないように、班分けや時間制限など、やくそくを決めて活動する。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりをする。</li> <li>・借用物品を返却する。</li> </ul>

## 6 実施上の留意点

- ・雨天、荒天時は、屋内での説明のあと、星空に関するVTRを視聴するか、代替プログラムを実施するか、あらかじめ決めておく。（事前打合せの段階で担当者と要相談）
- ・日没が遅くなる時期などは、思うように観察できない場合もあるため、時間設定（先に入浴するなど）をあらかじめ決めておく。（事前打合せの段階で担当者と要相談）
- ・集合時間や、館外放送の有無について確認する。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・活動場所、活動範囲から外へ出ていかないように指導する。
- ・天体望遠鏡やタブレット端末などの操作は、引率者（大人）が必ずついて指導する。

## 8 エリア地図

